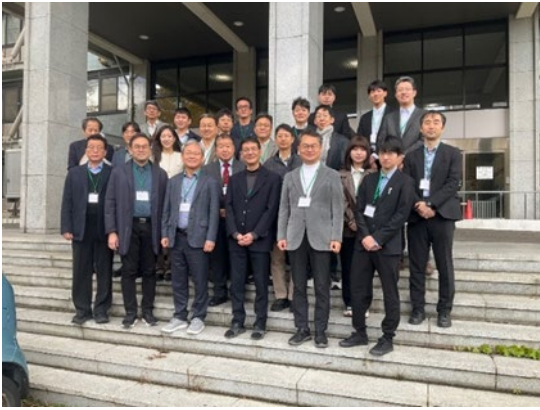


令和 7 年度「学術交流協定校との国際シンポジウム開催支援事業」報告書
 “Grant for International Symposium with Academic Partner University in FY 2024” Report Form

2026年 1月16日

| | | | | |
|--|--|-----------|-----------|-----------------------|
| 実施責任者 職・氏名 Responsible faculty member(Title, Name) | 准教授・植村豪 | | | |
| シンポジウム名 Symposium title | 北大・SNU ジョイントシンポジウム 機械系分科会 「次世代の熱流体・エネルギー工学に向けて」 | | | |
| 実施期間 Date, Time | 2025/10/27(月)~10/28(火) | | | |
| シンポジウムの具体的な開催内容 Describe the contents of the symposium | 北大（機械・宇宙航空工学部門）およびソウル大学校（Dept. Mechanical & Aerospace Engineering）において、「熱流体・エネルギー」領域をテーマにとりあげ、両校の研究、教育の交流を図った。教員による口頭発表として SNU 側 7 件、本学 5 件、さらに学生による発表として SNU 側 2 件、本学 5 件が行われた。発表内容は流体および二相流現象、燃焼・推進、エネルギー変換・貯蔵技術、計測・可視化手法など、基礎研究から応用研究に至るまで幅広い分野にわたった。さらに北海道ガス株式会社様および北海道熱供給公社様のご協力を得て、施設見学会も実施した。 | | | |
| 出席者数 Number of Participants | 合計/Total 31 人/Participants | | | |
| | 内訳/Details | | | |
| | 人数/ Number of Participants | 身分/Status | 国/Country | 所属機関名/University Name |
| | 11 名 | 教員 | 日本 | 北海道大学 |
| | 6 名 | 学生 | 日本 | 北海道大学 |
| | 11 名 | 教員 | 韓国 | ソウル大学校 |
| 3 名 | 学生 | 韓国 | ソウル大学校 | |
| シンポジウム開催による成果 Outcome | 本分科会では開催形態は対面方式のみとしたが、両大学から約 30 名が参加し、大変盛況な分科会となった。2 日間を通じて活発な議論と情報交換が行われ、参加者にとって今後の研究活動の連携や発展につながる有意義な機会となった。また、1 日目夜にはウェルカムパーティーを開催し、研究交流のみならず参加者相互の親睦を深めることができた。 | | | |
| 今後の共同研究に向けた展望と課題 Future prospects and issues towards research collaboration | 本分科会の位置付けについて、開催後に北大側と SNU 側で認識の相違があることが分かった。機械工学は研究分野が広範であるため、北大側としては開催年ごとに大卒の対象分野を設定し、双方から分野の近い参加者を募ることで新しいネットワークを構築しやすくすることを想定していた。一方、SNU 側は今回のメンバーで今後も継続的に連携強化を図ることを想定していた模様であった。次回の開催に向けては、本分科会の位置付けを整理して準備を進めたい。 | | | |
| その他 (本事業の要望等) Comment for the grant | 本事業での経費支援によって、本分科会を成功裏に終えることができました。改めて御礼申し上げます。 | | | |



参加者集合写真



セッションの様子